

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

清須市地域公共交通活性化協議会

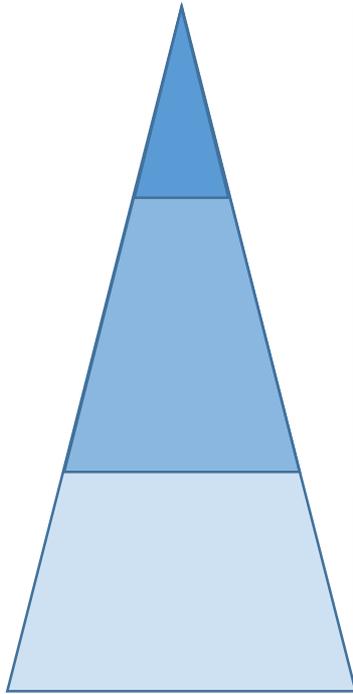
平成18年6月26日設置

フィーダー系統 平成29年6月20日 確保維持計画策定等

■ 清須市の地域特性

- (1) 本市の面積は約17km²とコンパクトではあるが、市域内を流れる3河川、鉄道網、大型道路網等によって制約を受け、市域内の交通利便性が高くない。
- (2) 市域内には、半径1km以内に鉄道駅、バス路線がない交通不便地域があり、自家用車に依存せざるを得ない状態である。

■ 計画体系及び目指す姿



清須市第2次総合計画 [平成29年度～平成36年度]

施策405「公共交通の充実」「あしがるバス」を中心とした公共交通網が充実し、市内移動の利便性が向上

清須市地域公共交通網形成計画 [平成27年度～平成31年度]

①交通不便地域居住者の駅や市内主要公共施設へのアクセス確保、②障がい者・要介護者等の移動手段の確保、③市内全域での徒歩・自転車での安全な移動のための動線確保、④鉄道で清須市を訪れる人の域内移動手段の確保、⑤駅のユニバーサルデザインの推進

清須市生活交通確保維持改善計画 [毎年度]

「あしがるバス」により、市内の公共交通圏の人口カバー率を向上させ、市域内及び市域外との公共交通利便性を高める



誰もが移動しやすいまち「清須」

(1) 地域公共交通会議の開催

コミュニティバスの利用状況等を分析し、本市における地域公共交通のあり方を協議。

会議名	開催日	主な協議内容
平成29年度 第2回地域公共交通会議	平成29年 11月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・増便に係る基本的な方針について ・無料乗車券の有効期限延長について
平成29年度 地域公共交通会議専門部会	平成29年 12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・増便に係るルート・ダイヤ案について
平成29年度 第3回地域公共交通会議	平成30年 2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・増便に係るルート・ダイヤ改正案について ・利用促進施策案について
平成30年度 第1回地域公共交通会議	平成30年 5月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・網形成計画改正案について ・生活交通確保維持改善計画案について ・ルート・ダイヤ改正案について
平成30年度 地域公共交通会議専門部会	平成30年 6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート・ダイヤ改正に伴う利用促進策について

(2) 目標を達成するために行う、主な事業・実施主体

主な事業	実施主体	主な内容
① ルート・ダイヤ改正 (平成30年10月1日)	<ul style="list-style-type: none"> ・清須市 ・運行事業者 	1台増車し、次の施策を実施。 ①既存ルートの増便、②ルート新設、③乗換えしやすいダイヤ設定、④パターンダイヤの導入
② 利用促進策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・清須市 ・運行事業者 	バスの利用者増加及び認知度向上に結び付くような利用促進策を実施。(詳細は(3)のとおり)

(3) あしがるバスの利用促進事業

	項目	概要
毎年実施	①春日五条川さくらまつりでのPR 〔平成30年4月7日(土)〕	まつり会場にブースを設置し、バス車内見学、啓発品配布等を実施。
	②コミュニティバス乗り方教室 〔平成30年6月15日(金)・19日(火)〕	小学3年生の児童を対象に、バス車内見学、啓発品配布を実施。
	③運転免許証自主返納支援事業	無料乗車券(有効期限：1年)を発行。
	④1日無料デー 〔平成30年10月7日(日)〕	運賃を1日無料とし、認知度向上及び新規利用者の増加を図る。

春日五条川さくらまつりでのPR



コミュニティバス乗り方教室

自主返納者に交付する無料乗車券

No. _____

きよす あしがるバス

運転免許証自主返納者 無料乗車券

氏名： _____

有効期限： 平成 年 月 日

私は、運転免許証を自主返納した者に相違ありません。

このほか、平成30年10月1日実施のルート・ダイヤ改正に向けて周知活動も行った。

(中部様式2 2-2 アピールポイント参照)

自己評価実施日：平成30年12月17日（月）〔平成30年度 第2回清須市地域公共交通会議〕

取組項目	目標値	実施状況	達成度
①あしがるバスの運行	毎日運行（欠便なし）	毎日運行（欠便なし）	達成
②あしがるバスの利用者 （1便あたり）の増加	オレンジ：6.0人/便	オレンジ：6.4人/便	達成
	グリーン：5.7人/便	グリーン：5.8人/便	達成
	サクラ：7.2人/便	サクラ：6.9人/便	未達成
③あしがるバスの認知度向上	94%以上	89.4%	未達成
④あしがるバスの利用度向上	35%以上	34.6%	未達成

【1便あたり利用者数の推移】

取組項目		H25	H26	H27	H28	H29
利用者 （1便あたり）	オレンジ	4.5人/便	4.6人/便	5.2人/便	6.0人/便	6.4人/便
	グリーン	4.6人/便	4.4人/便	4.9人/便	5.6人/便	5.8人/便
	サクラ	3.9人/便	5.0人/便	5.5人/便	7.2人/便	6.9人/便

取組項目の中で一部未達成となった項目があるものの、1便あたりの利用者数は増加傾向にある。平成30年10月1日に実施したルート・ダイヤ改正の影響を注視しつつ、引き続き目標達成に向け利用促進事業を実施する。

課題等	課題への対応
<p>○利用者数は増加しているが、中長期的には減少に転じる予想。</p> <p>⇒利便性を向上させ新たな利用者を獲得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査等による住民ニーズの把握（平成30年2月9日～15日・4月7日） <ul style="list-style-type: none"> ・便数が少ない。 ・経路が長く時間がかかる。 ・行きたい場所へ行けない。 ・近くにバス停を設置してほしい。 住民ニーズに即したルート・ダイヤ改正（平成30年10月1日改正） <ul style="list-style-type: none"> ・増便（26便/日→44便/日） ・ルート新設、既存ルート見直し ・乗換えを意識したダイヤ設定 ・パターンダイヤの導入
<p>○バスの認知度は高いが、新規利用者の獲得につなげていない。</p> <p>⇒バス利用のきっかけを作り、継続的な利用への入口とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●認知度、利用度の向上 <ul style="list-style-type: none"> 網形成計画に掲げた利用促進策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・まつり等のイベントでのPR ・バス乗り方教室 ・運転免許証自主返納支援事業 ・1日無料デー <p style="text-align: right;">etc.</p>

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

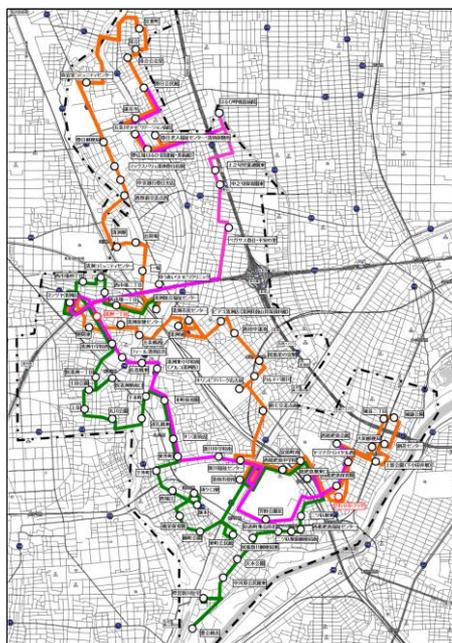
清須市地域公共交通活性化協議会

平成18年6月26日設置

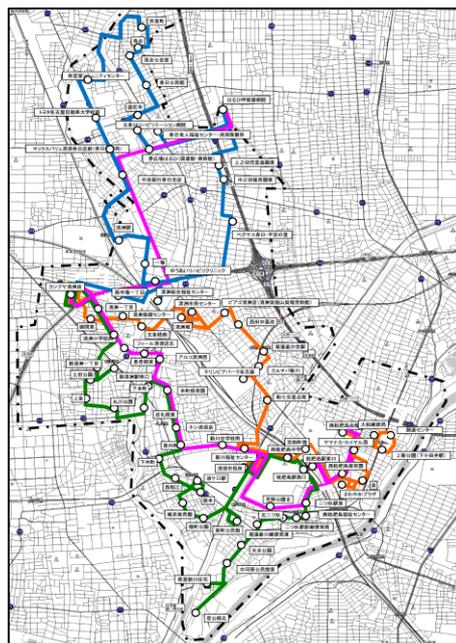
フィーダー系統 平成29年6月20日 確保維持計画策定等

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>【地域内フィーダー系統】 利用者が増加基調を維持しているのは、清須市の特徴。 (利用促進策の効果と評価)</p>	<p>「清須市地域公共交通網形成計画」に基づき、次の2点を実施。</p> <p>①利用者増加(利用度向上) ⇒ルート・ダイヤ改正</p> <p>②認知度向上 ⇒利用促進策の実施</p>	<p>①ルート・ダイヤ改正 〔平成30年10月1日改正〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの増便 (26便/日⇒44便/日) ・ルート新設 (ブルールート新設) ・乗換えしやすいダイヤ設定 (乗換えポイント2箇所) ・パターンダイヤ導入 (2h間隔のパターン)
<p>【計画推進事業】 市民ニーズの把握について、「意識調査」だけでなく、可能な限り様々な市民の意見を聞くよう配慮されたい。</p>		<p>②利用促進策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主返納支援事業拡充 (有効期限3ヶ月⇒1年) ・イベント等でのPR (さくらまつり) ・バス乗り方教室 (小学校2校 計152人) ・1日無料デー (乗車人数280人⇒383人)

(1) 平成30年10月1日にルート・ダイヤ改正を行い、更なる利便性の向上を図った。



改正前ルート図



改正後ルート図

○改正後の利用状況○ 利用者数

平成30年9月 5,342人/月 ⇒ 平成30年10月 6,699人/月
1,357人、25.4% 増加

- 既存ルートの増便・ブルールート新設
 - オレンジルート 6便/日⇒11便/日
 - グリーンルート 10便/日⇒11便/日
 - サクラルート 10便/日⇒11便/日
 - ブルールート (新設) ⇒11便/日

○乗換えしやすいダイヤの設定

複数のルートが集まるバス停のうち主要な2箇所のバス停（ヨシツヤ清洲店・清須市役所）で、異なるルートのバスが同じ時間帯に発着するダイヤとすることで、乗換えしやすくする。

○パターンダイヤの導入

2時間間隔で同じパターンを繰り返すパターンダイヤを導入し、時刻表を覚えやすくすることで、利用しやすくする。※ブルールートは1時間間隔

枇杷島駅東口バス停

オレンジ	東行き	8:55	10:55	12:55	・・・	18:55
	西行き	9:44	11:44	13:44	・・・	17:44
サクラ	西行き	8:48	10:48	12:48	・・・	18:48
	東行き	10:05	12:05	14:05	・・・	18:05

	ルート	着時間	発時間
ヨシツヤ清洲店バス停	グリーン	9:10	9:15
	サクラ	9:11	9:11
	ブルー	9:09	9:20

乗換え可能

2-2.アピールポイント

(2) ルート・ダイヤ改正による利便性向上をPRするために周知活動を実施した。

●寿会やサロン等でのPR

主な利用者である高齢者の集まりに職員が直接出向き、改正点等を解説し利便性の向上をPRする。

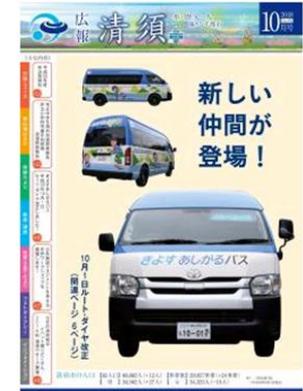
※寿会は役員経由で約4,500人にチラシを配布

●広報紙の活用

(広報清須 8月号～11月号に記事連載)

あしがるバスについての記事を連載し、ルート・ダイヤ改正を周知する。

10月号には新車両を表紙に掲載し、チラシを折込み。(約30,000部)



広報清須10月号表紙

●ポスター、チラシの作成・配布

自治会掲示板、公共施設、医療機関、商業施設、鉄道駅等にポスターを掲示。(市内439箇所)

ルート・ダイヤ改正の概要等を掲載したチラシを市内各所に配架、イベント等で配布。(8,254部)



ポスター



チラシ

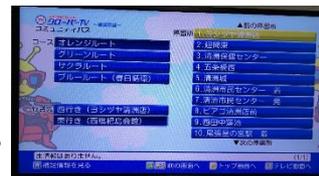


●バス車体、バス停を活用したPR

バスの車体に広告を掲示して走行させる。バス停の空きスペースにPR広告を掲載。

●地元ケーブルテレビの活用

地元CATVのデータ放送画面に時刻表を表示し、利便性を高める。



データ表示画面

●市民課モニターへのPR画像掲載

●清洲城信長まつりでのPR

●HP等の活用

etc.